



令和7年度仙北市地域学校協働活動推進員協議会開催

10月8日(火)に仙北市地域学校協働活動推進員協議会が行われました。仙北市は各校に推進員が複数名配置されており、年に1度、仙北市内の推進員が一堂に会して協議会が実施されています。

今回の協議会では、相澤克彦CSディレクターがファシリテーターを務め、熟議を行いました。テーマⅠでは「協働活動を学校をこえて行くとどんなよいことがあるのだろうか」、テーマⅡでは「協働活動を学校をこえて行うにはどんなことが必要だろうか」について活発な話し合いが進められました。

仙北市は、今年度全小中学校にコミュニティ・スクールが導入されました。以前から仙北市の地域学校協働活動は活発に行われておりましたが、コミュニティ・スクールが導入され、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進がより一層進められています。

11月27日(木)に横手市雄物川コミュニティセンターを会場に南教育事務所主管で開催する「第2回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会」では、仙北市の取組を話題提供していただくことになっています。関係者の皆様には是非参加していただき、それぞれの立場での活動に生かしてもらえればと思います。



お知らせ

令和7年度 学校・家庭・地域連携総合推進事業 第2回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会

日 時 令和7年11月27日(木) 13:20~16:00 (12:50から受付)
会 場 雄物川コミュニティセンター(横手市雄物川町沼館字高畑 338 Tel0182-22-5535)

アドバイザーコラム 「先人たちの歩いた道に心を寄せて」

18日(土)、東成瀬村の公民館事業「仙北道を歩こう ～秋～」に参加しました。この仙北道は、2017年に「歴史の道百選(文化庁)」に選定されています。

仙北道を考える会(1996年結成)会員の皆さんと、安全祈願の後に、朝7時、姥懐(うばふところ)を出発し柏峠を目指しました。往復4時間、凜とした空気に包まれ、落葉を踏みしめながら、ブナ林に覆われた秋田県と岩手県を結ぶ先人たちが歩いたかつての要路を、心ゆくまで楽しみながら歩くことができました。

「仙北街道交流事業」の拠点は、同村の「まるごと自然館(旧椿川小学校)」です。館内にはこれまでの現地踏査の様子が写真掲示される他、歴史関連資料も多く展示されており、千年以上の古道の歴史が、県内外からの多くの参加者の関心を一層高めてくれています。

会員のお一人は、「秋田の玄関口となった村の歴史を後世に引き継ぐことが大事だが、まずは自然との共生、自然環境の保全が第一である。」と話しておりました。活動の継続には会員の高齢化が心配されますが、若い人の参加もありました。地域を愛する気持ちに支えられた本事業が継続されることを願うとともに、ぜひまた、足を運ばせていただきたいと思います。